

●実務経験のある教員等による授業科目

ミュージシャン科

ドラムスコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の 時数
全科 共通 科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門 科目	DTM	38	38	必修	実技	○	76
	バンドトレーニング	19	19	必修	講義	○	38
	ジャムセッション	19	19	必修	講義	○	38
	ドラムストレーニング	38	38	必修	実技	○	76
	ドラムス専攻実技	38	38	必修	実技	○	76
	ドラムス実技	38	38	必修	実技	○	76
	アンサンブルトレーニング	38	38	必修	実技	○	76
	アンサンブル実習	38	38	必修	実習	○	76
	コミュニケーション実践	19	19	必修	講義		-
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		851				合計
卒業時最少時間		1807					1458

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2020年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、AWA株式会社、株式会社コロオグラフィ 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望: II【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用しすることで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説により深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	<p>テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態／対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	301	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	305	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	バンドアンサンブル		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	全コース

授業概要	譜面(マスタリズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。 楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。 オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルを進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
19	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	バンドトレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洗平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	バンドミュージシャンコース・ギターコース・ベースコース・ドラムコース

授業概要	<p>即興(アドリブ)能力とバンド編成での調和・融合のレベルを上げるジャムセッションを行う。テーマを決め、そのテーマに沿ったアンサンブルを行う。即興演奏のレベルアップを行う。 また有名スタンダードの楽曲も取り入れ演奏を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アンサンブルトレーニングの趣旨・意味・内容を確認して、軽くジャムセッションを行う。
2	ワンコーラスの譜面を配布し、読譜・演奏を行う。
3	ワンコーラスの譜面を配布し、読譜・演奏を行う。
4	ワンコーラスの譜面を配布し、読譜・演奏を行う。
5	ワンコーラスの譜面を配布し、読譜・演奏を行う。
6	テーマをその場で決めセッション・アンサンブルを行う。
7	テーマをその場で決めセッション・アンサンブルを行う。
8	テーマをその場で決めセッション・アンサンブルを行う。
9	今までの総括授業として、それぞれの生徒の能力の課題を克服しながら全体的なセッションの構成力や即興性をより高めながら、お互いの音の融合やバランス・グルーブ感をより意識して前期の締めくくりのセッションを行う。
10	ワンコーラスの譜面を配布し、読譜・演奏を行う。
11	ワンコーラスの譜面を配布し、読譜・演奏を行う。
12	ワンコーラスの譜面を配布し、読譜・演奏を行う。
13	ワンコーラスの譜面を配布し、アレンジをして演奏を行う。
14	ワンコーラスの譜面を配布し、アレンジをして演奏を行う。
15	ワンコーラスの譜面を配布し、アレンジをして演奏を行う。
16	後期最終日のジャムセッションのレコーディングに向けて、それぞれの生徒の担当楽器も含めてレコーディング楽曲のテーマをプランニングしてセッションを行う。
17	後期最終日のジャムセッションのレコーディングに向けて、それぞれの生徒の担当楽器も含めてレコーディング楽曲のテーマをプランニングしてセッションを行う。
18	最終日のジャムセッションのレコーディングに向けて、楽曲テーマを確認してそれぞれの生徒の担当楽器・役割・楽曲の構成・楽曲のポイント・ソロパートの確認をしてセッションを行う。
19	1年間の総括として、ジャムセッションのレコーディングを行う前に各楽器担当生徒に演奏ポイント・セッションテーマなどを最終確認して、全体のバランス・グルーブ感を意識しながらレコーディングを行う。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ジャムセッション		実務授業の有無	○
担当講師	DJ 豊		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	バンドミュージシャンコース

授業概要	ミュージシャン科の楽器専攻の生徒に演奏の感性・個性・経験を磨き上げる為に、即興(アドリブ)能力とバンド編成での調和・融合のレベルを上げるジャムセッションを行う。ジャムセッションにはミュージシャン能力で最も必要なアドリブ能力を引き上げる事が出来るスタイルであり、楽曲を創り上げる能力も共に磨き上げ個性・感性・技術・知識・経験をレベルアップする総合授業でもある。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業の最初はジャムセッション授業の趣旨・意味・内容を確認して、軽くジャムセッションを行う。
2	前回の授業を踏まえて各テーマを持ちながら、それぞれの生徒の技術能力に合わせながらセッションを行う。
3	それぞれの生徒の技術能力に合わせながら、全体的にバランスを取りながらセッションを行う。
4	それぞれの生徒の課題を説明して、セッションテーマをのイメージを共有しながらジャムセッションを行う。
5	それぞれの生徒の課題を説明して、セッションテーマをのイメージを共有しながらジャムセッションを行う。
6	本格的なジャムセッションのスタイルをテーマを持ちながら徐々にレベルアップしながらセッションを行う。
7	全体的なセッションの構成力や即興性をより高めながら、お互いの音の融合やグルーブ感を意識して行う。
8	全体的なセッションの構成力や即興性をより高めながら、お互いの音の融合やグルーブ感をより意識して行う。
9	今までの総括授業として、それぞれの生徒の能力の課題を克服しながら全体的なセッションの構成力や即興性をより高めながら、お互いの音の融合やバランス・グルーブ感をより意識して前期の締めくくりのセッションを行う。
10	後期授業最初は前期授業のさらなるレベルアップの為、生徒個々の課題を提議してからそれぞれのジャムセッションのテーマや意味合いを確認して演奏を行う。
11	本格的なジャムセッションのスタイルやテーマを持ちながら徐々にレベルアップしながらセッションを行う。
12	全体的なセッションの構成力や即興性をより高めながら、お互いの音の融合やグルーブ感を意識して行う。
13	全体的なセッションの構成力や即興性をより高めながら、お互いの音の融合やグルーブ感をさらに意識して行う。
14	それぞれの生徒の能力の課題を克服しながら全体的なセッションの構成力や即興性をより高めながら、お互いの音の融合やバランス・グルーブ感をより意識して、楽曲としてのクオリティを高める。
15	それぞれの生徒の能力の課題を克服しながら全体的なセッションの構成力や即興性をより高めながら、お互いの音の融合やバランス・グルーブ感をより意識して、楽曲としてのクオリティをより高める。
16	後期最終日のジャムセッションのレコーディングに向けて、それぞれの生徒の担当楽器も含めてレコーディング楽曲のテーマをプランニングしてセッションを行う。
17	後期最終日のジャムセッションのレコーディングに向けて、それぞれの生徒の担当楽器も含めてレコーディング楽曲のテーマを確認しながら個々のポイントや全体のバランスを合わせてセッションを行う。
18	最終日のジャムセッションのレコーディングに向けて、楽曲テーマを確認してそれぞれの生徒の担当楽器・役割・楽曲の構成・楽曲のポイント・ソロパートの確認をしてセッションを行う。
19	1年間の総括として、ジャムセッションのレコーディングを行う前に各楽器担当生徒に演奏ポイント・セッションテーマなどを最終確認して、全体のバランス・グルーブ感を意識しながらレコーディングを行う。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	84年 六本木 DISCO「PIJAMA」でDJ(アシスタント)、スタッフ 85年 西麻布 CLUB「TOOLS BAR」でDJ、DJプロデュース、 89年 ☆新潟でフリーDJとしてPROJECT BRONX 結成 ライブハウス「エッグマン」でフリー契約。DJ PARTY スタート 東京からゲストDJイベント「MASTER MIX DANCE PARTY」主催 ☆「エッグマン」から「CLUB JUNK BOX」へ DJ、クラブプロデュースなどを手掛ける

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	保坂 洋平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	バンドミュージシャン(Dr)・ミュージシャン&作曲(Dr)

授業概要	<p>1、ドラムグレード試験の内容、目的の理解。7級取得を基本目的とし個人差で上下。</p> <p>2、基本的な読譜力とスティックコントロールを使ったルーディメンツ課題の実践(A課題)。</p> <p>3、ドラムセットでの多ジャンルの演奏の知識、実技の修得(B課題)。</p> <p>4、グレードレベルに合った自由曲の演奏。</p> <p>5、読譜力の応用と初見演奏への対応。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	個人のスキルチェック。読譜力等。 デイリーエクササイズ説明。(A課題、初見演奏を見据えたもの、毎回行います。) スティックコントロール、7級A課題導入。
2	7級初見課題解説。(初めて見る楽譜を30秒予見後指定されたテンポで演奏) B課題練習開始。(オルタネイトの16th Feel) 自由曲決定、音源準備(宿題)
3	7級A課題対策。(8分音符、タイ、16分音符) 7級B課題対策。(両足、16分音符の足) 自由曲(宿題)
4	7級A課題練習。(3連符、アクセントショット、フラム) 7級B課題練習。(スローテンポ16th Feel) 個人差で8級、6級指導)
5	自由曲宿題チェック。 マスターリズム譜作成の指導。
6	7級A課題練習。 7級B課題練習。(Fill in、4小節のリビート展開) 個人差で8級、6級指導。
7	7級B課題練習。(アップテンポのロックビート、シャッフル、ワルツ) 個人差で8級、6級指導。 自由曲(宿題)
8	自由曲宿題チェック(生徒の皆さんにそれぞれ評価してもらいます。) ここまでマスターリズム譜完成。 本番の流れ、対策説明。
9	7級デモ試験。
10	自由曲演奏。 自由曲(4~5曲)は夏期休業中宿題。
11	7級A課題復習。 7級B課題復習。 自由曲(宿題)
12	初見演奏対策、テンポキープ(チームA) 7級B課題練習(チームB)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
13	初見演奏対策、テンポキープ(チームB) 7級B課題練習(チームA)個人差で8、6級指導。 自由曲(宿題)
14	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
15	ワールドミュージック(ジャズ、サンバ、サルサ、マーチ)指導。 個人差で各B課題。
16	各級A、B課題、初見演奏、自由曲練習。
17	各級A、B課題、初見演奏、自由曲練習。
18	グレード試験デモ。 最終調整。

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露70%、授業態度および学習意欲30%、 後期課題披露80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドラム科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス専攻実技		実務授業の有無	○
担当講師	川瀬 洋輔		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	全コース

授業概要	1:ドラム演奏の知識や、技術を基礎から応用まで学ぶ。 2:身体の使い方に着目した無理の無い、演奏フォームを身に着ける。 3:成功体験を重ね、モチベーションを保つ方法を身に着ける。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	講師デモ演奏・個人面談・ドラムの座り方、スティックの持ち方、4つのストロークの解説。 アクセント移動、8ビート・裏打ちを限界まで行う。
2	4つのストロークの復習。オープンリムショットについて、音符について理解する。 バสดラムの踏み方。8ビートの色々なバスのパターンを行う。
3	ダブルストロークの基本。ルーディメンツの重要性について。フィルの作り方について。課題曲の提示。
4	バラデイドルの解説。フラム・ドラッグの説明、バสดラのダブルの踏み方。課題曲の発表。評価。
5	バラデイドルの復習。ハイハットのアプローチについて。 ライブの時のリハーサルの流れや、サウンドチェック時に確認する事などを教える。
6	バラデイドルの派生形、3つ割のフィルや考え方について。 シングルストローク、ダブルストローク、バラデイドルの基礎練習。
7	6連系のルーディメンツ。ビート練習 9回目の授業でドラムソロをする告知。
8	6連系のルーディメンツの復習。 各自ドラムソロ練習、スタジオ巡回。
9	ドラムソロ発表(動画撮影)次回授業の告知(面談と、今まで授業で行ったルーディメンツテスト)
10	ルーディメンツの確認テスト3種類。バラケッタの解説。面談。
11	5連符の解説。簡単な叩いて見たの録り方を実演。SNS等での動画再生の伸ばし方。 13回目の授業までに動画提出。
12	バラデイドルのアクセント。 様々なビート①。 次回課題の質問等を聞く。提出方法を説明。
13	全開のアクセントの復習。 様々なビート②
14	フラムアクセント・フラムタップ・ツインペダルを使ってみる(手足のコンビネーション・ツープート)。
15	前回のルーディメンツの確認。 ツインペダルを使ってみる(16分音符など)
16	ドラム講師体験(初心者)に教える設定 評価週での課題(テスト)を発表。
17	各自評価週に向けた練習。巡回。
18	ドラムソロ発表。評価
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	前期課題披露60%、授業態度および学習意欲30%、毎日のルーディメンツ10% 後期課題披露50%、自由曲30%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟県音楽スクールにてドラムス講師を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ドラムス実技		実務授業の有無	○
担当講師	中野 大輔		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ドラムスコース

授業概要	自身のドラムス演奏を実際に録音し、現状の演奏能力を知る。 簡易的な録音技術を習得し、将来的に演奏動画の作成等に活かす。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨等の説明 ドラムス録音に必要な基本的な知識(必要機材等)
2	ドラムス録音実習1 (各項でDAW操作方法、マイキング等を随時説明)
3	ドラムス録音実習2 (各項でDAW操作方法、マイキング等を随時説明)
4	ドラムス録音実習3 (各項でDAW操作方法、マイキング等を随時説明)
5	ドラムス録音実習4 (各項でDAW操作方法、マイキング等を随時説明)
6	ドラムス録音実習5 (各項でDAW操作方法、マイキング等を随時説明)
7	ドラムス録音実習6 (各項でDAW操作方法、マイキング等を随時説明)
8	ドラムス録音実習7 (各項でDAW操作方法、マイキング等を随時説明)
9	ドラムス録音作品発表
10	前期授業のおさらい ドラムス録音の基本知識を再度確認
11	ドラムス録音実習8 (前期の発展型。EQ等プラグイン使用方法を随時説明)
12	ドラムス録音実習9 (前期の発展型。EQ等プラグイン使用方法を随時説明)
13	ドラムス録音実習10 (前期の発展型。EQ等プラグイン使用方法を随時説明)
14	ドラムス録音実習11 (前期の発展型。EQ等プラグイン使用方法を随時説明)
15	ドラムス録音実習12 (前期の発展型。EQ等プラグイン使用方法を随時説明)
16	ドラムス録音実習13 (前期の発展型。EQ等プラグイン使用方法を随時説明)
17	ドラムス録音実習14 (前期の発展型。EQ等プラグイン使用方法を随時説明)
18	ドラムス録音実習15 (前期の発展型。EQ等プラグイン使用方法を随時説明)
19	ドラムス録音作品発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	最終授業課題提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	秋葉区初の音楽スタジオ「中野スタジオ」オーナー 2015年 Niigata KENTO'S Bandのドラマーに就任 PA音響・ドラム講師・楽曲制作・レコーディングエンジニア等多岐に渡り活動中。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブルトレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	真山 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	ミュージシャン&作曲コース・バンドミュージシャンコース

授業概要	実践でのトレーニング。専攻授業の実践や応用、読譜力、専攻楽器以外の知識習得し、バンド演奏に必要な音楽的知識を総合的に学ぶ内容
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
2	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
3	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
4	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
5	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
6	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
7	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
8	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
9	前期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏
10	後期開始 課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
11	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
12	課題曲アンサンブル。16ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
13	課題曲アンサンブル。17ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
14	課題曲アンサンブル。18ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
15	課題曲アンサンブル。19ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
16	課題曲アンサンブル。ハーフシャッフルビート曲の演奏
17	課題曲アンサンブル。ハーフシャッフルビート曲の演奏
18	課題曲アンサンブル。ハーフシャッフルビート曲の演奏
19	後期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	講師歴15年。大手音楽教室資格取得

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブル実習		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	全コース

授業概要	アンサンブルを通じて、バンドでのリズム・メロディ・ハーモニーのアレンジを総合的に学ぶ。課題曲を演奏したり、課題曲をアレンジしたりして楽曲への理解を深め、アレンジも行えるように指導を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。マスタリズム・楽譜とは何か。課題曲①(ワンコーラス)
2	課題曲①
3	課題曲②
4	課題曲②
5	課題曲③
6	課題曲③
7	前期末課題曲④
8	前期末課題曲④
9	前期末課題曲テスト
10	課題曲⑤
11	課題曲⑤
12	課題曲⑥
13	課題曲⑥
14	課題曲⑦
15	課題曲⑦
16	課題曲⑦
17	後期末課題曲④
18	後期末課題曲④
19	後期末課題曲テスト

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コミュニケーション実践		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ミュージシャン科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期・後期でのイベント制作にあたっての企画会議や、作品制作を行う。 全員でコミュニケーションを綿密に取り、制作に取り組む。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
2	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
3	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
4	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
5	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
6	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
7	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
8	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
9	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
10	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
11	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
12	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
13	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
14	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
15	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
16	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
17	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
18	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。
19	ライブ・イベント企画などの実施・企画、作品の進行状況などのディスカッション。

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	報告書の提出80%、実践および活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	